

新大阪駅・大阪駅ルート(阪急バス)の検討状況

2024年5月31日
阪急バス株式会社

万博開催時の計画概要

- 場 所：淀川左岸線2期区間
- 実施時期：万博開催期間中（運行期間は今後検討）
- 道路側設備：磁気マーカ、ターゲットラインペイント
- 使用車両：8.8m（中型）観光バスタイプ車両（EVバス）
- その他：運賃や便数、ダイヤ等、駅シャトルバス全体に関して今後検討
- 特 徴：観光バスタイプのEV車両による自動運転（国内初）

○想定スケジュール

2023年度			2024年度			2025年度		
7月		2月～3月	5月		1月～2月	4/13	～	10/13
補助金申請	車両導入・架装	実証実験①	補助金申請	調整・ラッピング等	実証実験②	万博輸送		

○車両イメージ
（昨年度実証実験時）



「新大阪駅・大阪駅ルート」の検討状況（阪急バス株式会社）

万博開催時の計画概要

運行ルート： 下図のとおり（自動運転は淀川左岸線2期区間西行きのみ）



2023年度自動運転バス実証実験の結果について(阪急バス株式会社)

昨年度の実証実験 結果概要

場 所 : 淀川緊急用河川敷道路

実施時期 : 2024年2月～3月初旬

実施目的 : 2025大阪・関西万博の駅シャトルバス輸送(新大阪駅～会場)における自動運転実施の準備の第一段階として、自動運転装置の機能や走行における安定性を確認する。

実施概要 : ① 高速運転試験(最高速度60km/h)
② 自己位置推定手法切り替え試験(最高速度60km/h)

道路側設備 : 磁気マーカ、ターゲットラインペイント

使用車両 : 8.8m(中型)観光バスタイプ車両(EVバス)

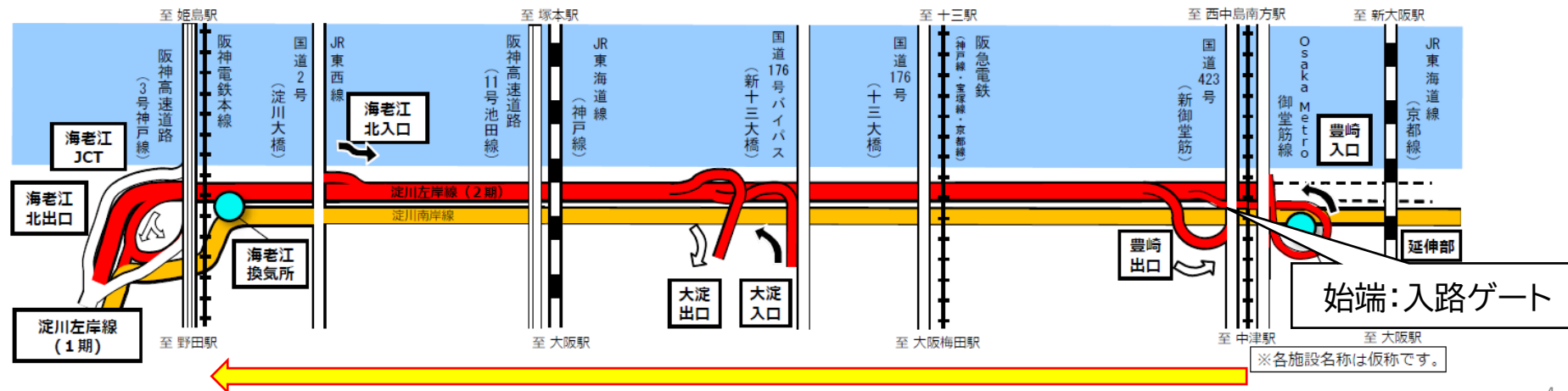
その他 : 旅客の乗車はなし

検証項目 : ① 観光バスタイプ車両における制御安定性
＜結果＞・GPSでの走行においては各速度とも安定性が確認できた。
② 自動運転バスの安全性評価
＜結果＞・自己位置推定手法の切替時の車両挙動に異常はなく、安定性が確認できた。
③ 自動運転バスの乗り心地評価
＜結果＞・加速時はスムーズ、停止時は制動力の調整が必要

2024年度自動運転バス実証実験の内容について(阪急バス株式会社)

計画概要

- 場 所** : 淀川左岸線2期区間(豊崎入口→海老江JCT(西行きのみ))
- 実施時期** : 2025年1月～2月(予定)
- 実施目的** : 2025大阪・関西万博の駅シャトルバス輸送(新大阪駅～会場)における淀川左岸線2期区間(西行き)での自動運転実施のため、同区間の反復走行により、自動運転装置等の調整を行い、十分な安全性を確保する。
- 道路側設備** : 磁気マーカ、ターゲットラインペイント
※加えて自己位置推定手法の冗長化のため、GNSS及び3次元地図による走行も可能とする
- 使用車両** : 8.8m(中型)観光バスタイプ車両(EVバス)
- その他・特徴** : 旅客の乗車はなし



万博本番同様、西行きのみ自動運転実施予定